

RDL DD-BTN44 の設定方法

はじめに

本資料では、RDL DD-BTN44 の設定方法について解説します。

本製品は設定にターミナルエミュレータを使用します。本資料では Tera Term を例にとって解説します。

目次

設定可能な項目	2
設定の準備	3
1. PC と DD-BTN44 をペアリングする	3
2. ターミナルエミュレータで DD-BTN44 を接続する	4
3. Program Code の入力と、プログラミングモードへの移行	5
設定コマンド	6
✓ Product Name	6
✓ Program Code	6
✓ Pair Code	6
✓ Pair Mode	7
✓ Dim Mode	7
✓ Print	7
✓ Reboot	7
プログラミングモードの終了	8
ファクトリーリセット(工場出荷時のデフォルト設定に戻す)	8



設定可能な項目

設定可能な項目は以下の通りです。

✓ **Product Name**

Bluetooth デバイス名を設定します

Bluetooth デバイス名はペアリング時に接続するデバイスに表示される名前です。

Bluetooth デバイス名は通常、ペアリング時にユーザーが正しいユニットを識別するために使用します

デフォルト設定: RDL_BT_DD

✓ **Program Code**

プログラミングモードに入るためのコードを設定します

デフォルト設定: 1234

✓ **Pair Code**

Bluetooth パスキー (PIN) を設定します

デフォルト設定: 0000

✓ **Pair Mode**

ペアリング時、Bluetooth ペアコード入力の要不要を選択します

Simple: Bluetooth ペアコードなしでペアリングが可能

Code: Bluetooth ペアコードを要求します

2 回目以降ペアリングする際にペアコードの再入力を要求するかどうかは、接続するデバイスによって異なります

デフォルト設定: Simple

✓ **Dim Mode**

フロントパネルの LED の明るさを変更します

Normal: ペアリング完了の 5 秒後、または接続しているデバイスが存在しない場合に LED は照度を落とします

Blight: LED は常に最大照度で点灯します

Off: LED は常に消灯します

デフォルト設定: Normal

※プログラミングモード時とペアリング時は設定にかかわらず LED が点灯します

デフォルト設定でのインストールが可能な場合、以下の設定は不要です



設定の準備

DD-BTN44 の設定を行うには、プログラミングモードに移行する必要があります。
プログラミングモードへは以下の手順で入ることができます。

1. PCとDD-BTN44をペアリングする

DD-BTN44 本体の青色 LED が点滅するまで PAIR ボタンを押し続けます。ペアリングが完了する前に青色 LED の点滅が止まったら、この手順を再度行ってください。

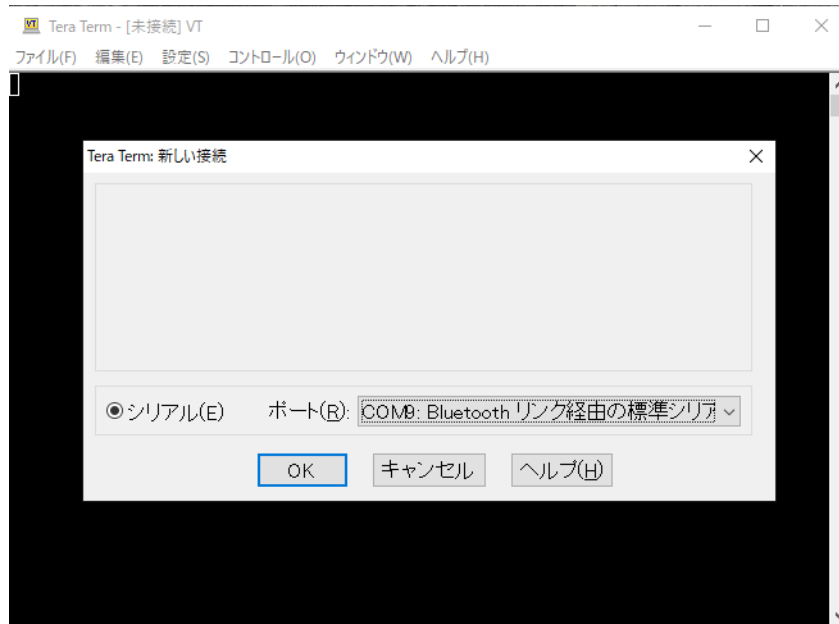
青色 LED が点滅している間に、PC の Bluetooth 設定から DD-BTN44 デバイスを探し、画面の指示に従ってペアリングを完了させます。ペアリングが成功すると DD-BTN44 本体の青色 LED が点灯します。





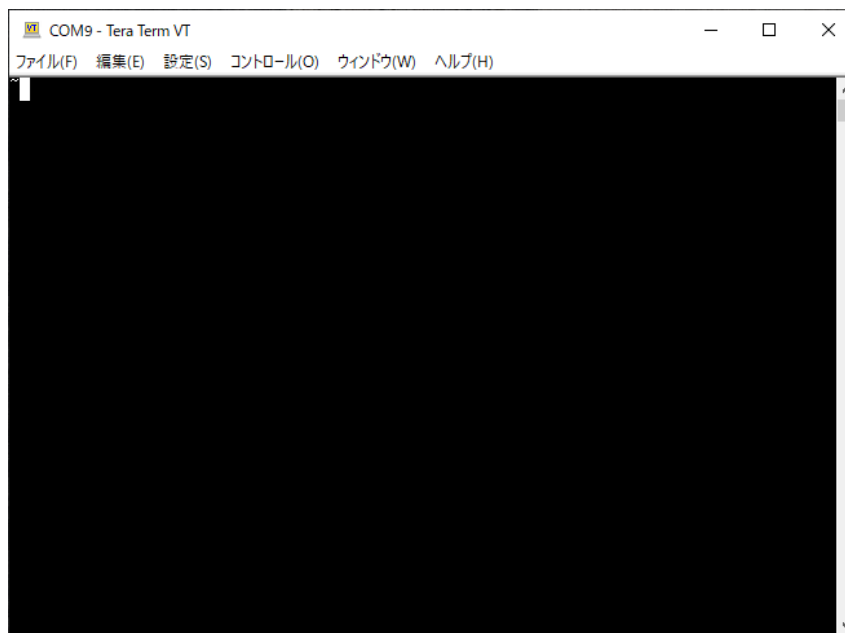
2. ターミナルエミュレータで DD-BTN44 を接続する

Tera Term の新しい接続でシリアル(E)を選択し、DD-BTN44 が接続されている COM ポートを選択します。



正常に接続されると、DD-BTN44 の Pair ボタン左に配置されている LED がオレンジ色に点灯し、Tera Term ウィンドウに「 ~ 」プロンプトが表示されます。

通常、Tera Term のシリアルポート設定はデフォルトのまま変更は不要です。





3. Program Codeの入力と、プログラミングモードへの移行

Tera Term を使用して、Program Code(デフォルト:1234)を入力し、CR(+LF)を送信します。その後、DD-BTN44 の Pair ボタンを 1 秒間押し、離します。

この時 3 秒以上押し続けると PC と DD-BTN44 とのペアリングが解除されますので、ご注意ください。

プログラミングモードに移行すると、Tera Term ウィンドウに現在の設定が表示されます。本機がプログラミング入力を待機しているときは、「 ~# 」プロンプトが表示されます。

```
COM9 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
~1234
RDL_BT V1.1
Name RDL_BT
Program Code 1234
Pair CodeDim Mode Normal
~#
```

プログラミングモードについて

プログラミングモードでは、デフォルト設定を変更することができます。設定を変更するためには、2 文字の文字列とコロンで構成されるシンタックスを入力し、その後に有効な文字列を入力します。有効なコマンドを入力すると、確認のプロンプトが表示されるので、実行する場合は Yes キャンセルの場合は No を入力します。

コマンドが無効な場合、「 Error! 」と表示されます。

文字列には、省略形を使用することができます。例えば、「 Y 」は Yes に使用することができます。本書では省略可能な文字列の省略形を太字の下線で表示します。



設定コマンド

この章では、プログラミングモードにおけるコマンド、および文字列について解説します。設定項目についての詳細は、「設定項目」を参照してください。

✓ Product Name

CN:<name>

<name>は 1 文字以上 32 文字以下の半角英数字文字列を入力します。
入力に成功すると DD-BTN は再起動し、PC とのペアリングを解除します。

コマンド例

CN:RDL_BT_DD

✓ Program Code

CC: <program code>

<program code>は、4 桁以上 8 桁以下の数字を入力します。
入力に成功すると DD-BTN は引き続きプログラミングモードになります。

コマンド例

CC:1234

✓ Pair Code

CP:<pair code>

<pair code>は 4 桁の数字を入力します。
ペアコードは Pair Mode が「 CODE 」に設定されている場合のみ使用されます。
入力に成功すると、DD-BTN は引き続きプログラミングモードになります。

コマンド例

CP:0000



✓ Pair Mode

PM:<pair mode>

<pair mode>は SIMPLE もしくは CODE いずれかのアルファベット文字列です。
入力に成功すると DD-BTN は再起動し、PC とのペアリングを解除します。

コマンド例

PM:SIMPLE

✓ Dim Mode

CD:<dim mode>

<dim mode>は OFF、NORMAL、BRIGHT いずれかのアルファベット文字列です。
入力に成功すると、DD-BTN は引き続きプログラミングモードになります。

コマンド例

CD:NORMAL

上記の設定に加えて、プログラミングモードでは以下のコマンドが使用可能です

✓ Print

CS:PRINT

現在の設定のリストが Tera Term ウィンドウに表示されます。
入力に成功すると、DD-BTN は引き続きプログラミングモードになります。

✓ Reboot

CR:REBOOT

本機を再起動します。
入力に成功すると DD-BTN は再起動し、PC とのペアリングを解除します。



プログラミングモードの終了

プログラミングモードを終了するには以下の手順のいずれかを行います。

- ✓ Tera Term との接続を切断します
- ✓ DD-BTN44 と PC のペアリングを解除します (Pair ボタンを 3 秒以上押し続けます)
- ✓ REBOOT コマンドを送信します

ファクトリーリセット(工場出荷時のデフォルト設定に戻す)

次の手順で DD-BTN44 を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

この手順はプログラムコードが変更され、その値が失われて現在のプログラムコードがわからなくなった場合に有効です。

1. DD-BTN44 を壁やボックスなどから取り外します
2. LAN ケーブルを取り外して電源を切り、再接続して DD-BTN44 を起動します
3. リセットボタン (DD-BTN44 上部、Pair ボタン側にある小さな開口部) を緑 LED が点滅中になるまで押し続けます
4. 緑の LED の点滅が止まったら、工場出荷時のプログラム値で自動的に再起動します